

幼児教育の無償化について

現在国では、2019年10月から幼児教育の無償化の実施が検討されています。

アンケートご記入の際は以下の無償化の資料をお読みになられた上でご回答ください。

3歳から5歳までの子供たちの幼稚園、保育所、認定こども園などの利用料が無償化されます。

消費税率引上げ時の2019年10月1日からの実施を目指すこととされています。

- 子育て世帯を応援し、社会保障を全世代型へ抜本的に変えるため、幼児教育の無償化を一気に加速することとされました。幼児教育の無償化は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性や、幼児教育の負担軽減を図る少子化対策の観点などから取り込まれるものです。
- 「新しい経済政策パッケージ」（2017年12月8日閣議決定）、「経済財政運営と改革の基本方針2018」（2018年6月15日閣議決定）において、以下の方針が示され、消費税率引上げ時の2019年10月1日からの実施を目指すこととされています。具体的な手続き等については、現在検討が行われているところです。

幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する子供たち

【対象者・利用料】

- 幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する3歳から5歳の全ての子供たちの利用料が無償化されます。
 - * 子ども・子育て支援新制度の対象とならない幼稚園の利用料については、同制度における利用者負担額を上限として無償化されます(上限月額2.57万円)。
 - * 実費として徴収されている費用(通園送迎費、食材料費、行事費など)は、無償化の対象外です。
 - * 幼稚園(4時間程度)については満3歳(3歳になった日)から、保育所については3歳児クラス(3歳になった後の最初の4月以降)から無償化されます。その他の施設等については、上記取扱いも踏まえて、検討が行われているところです。
- 0歳から2歳児の子供たちの利用料については、住民税非課税世帯を対象として無償化されます。

【対象となる施設・サービス】

- 幼稚園、保育所、認定こども園に加え、地域型保育(小規模保育、家庭的保育、居宅訪問型保育、事業所内保育)、企業主導型保育事業(標準的な利用料)も同様に無償化の対象とされます。

※ 最優先の課題である待機児童解消の実現に向けては、女性就業率80%に対応できる「子育て安心プラン」を前倒し、2020年度末までに32万人分の受け皿整備を進めます。

幼稚園の預かり保育を利用する子供たち

【対象者・利用料】

- 幼稚園の預かり保育を利用する子供たちについては、新たに保育の必要性があると認定を受けた場合には、幼稚園保育料の無償化（上限月額2.57万円）に加え、利用実態に応じて、認可保育所における保育料の全国平均額（月額3.7万円）と幼稚園保育料の無償化の上限額との差額である最大月1.13万円までの範囲で預かり保育の利用料が無償化されます。

※ 認定こども園における子ども・子育て支援新制度の1号認定の子供たちが利用する預かり保育も含まれます。

認可外保育施設等を利用する子供たち

【対象者・利用料】

- 認可外保育施設等を利用する子供たちについても、保育の必要性があると認定された3歳から5歳の子供たちを対象として、認可保育所における保育料の全国平均額（月額3.7万円）までの利用料が無償化されます。
- 0歳から2歳児の子供たちについては、住民税非課税世帯の子供たちを対象として、月額4.2万円までの利用料が無償化されます。

【対象となる施設・サービス】

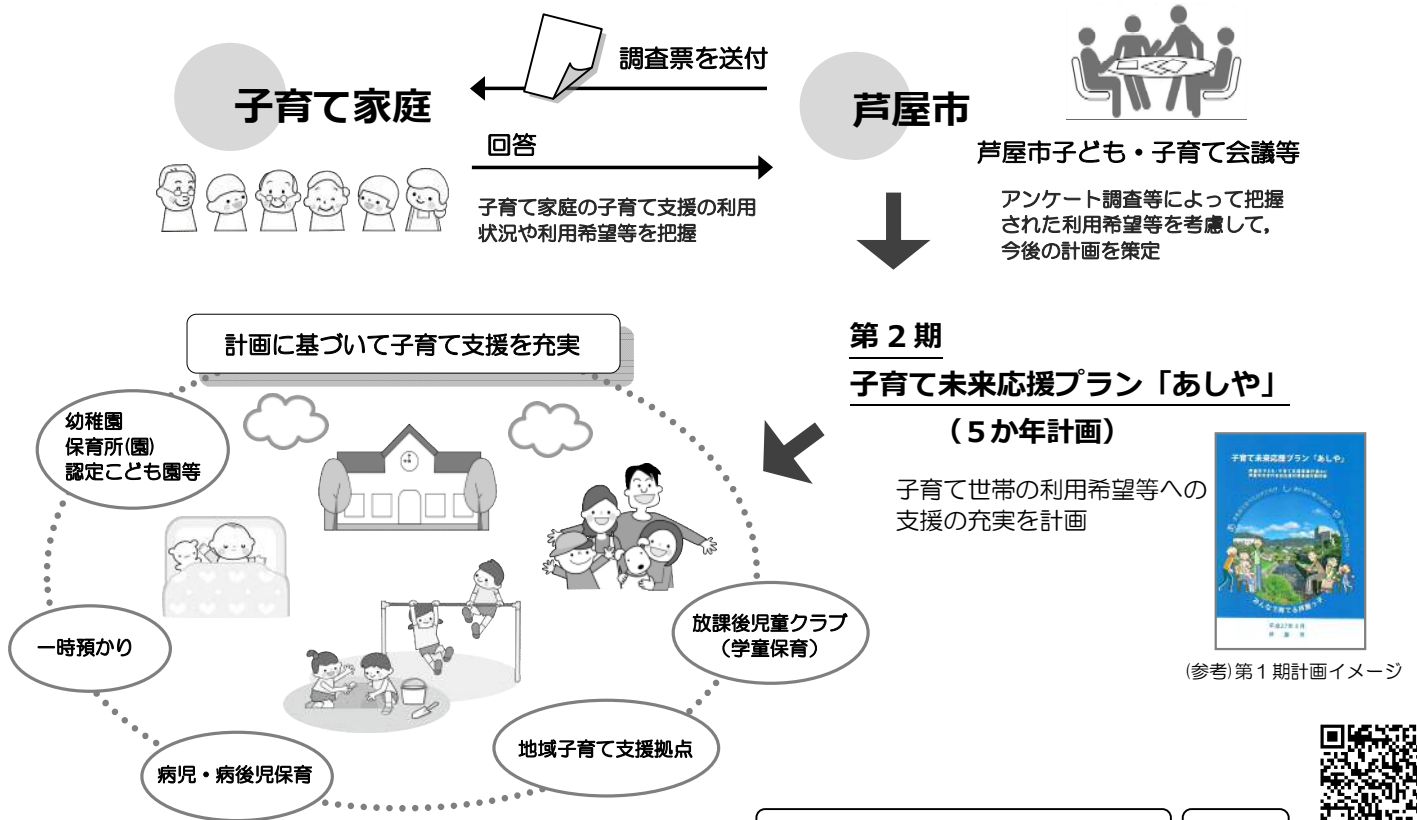
- 認可外保育施設等とは、一般的な認可外保育施設、地方自治体独自の認証保育施設、ベビーホテル、ベビーシッター、認可外の事業所内保育等を指します。このほか、子ども・子育て支援法に基づく一時預かり事業、病児保育事業及びファミリー・サポート・センター事業を対象とします。
- 無償化の対象となる認可外保育施設等は、都道府県等に届出を行い、国が定める認可外保育施設の指導監督基準を満たすことが必要です。ただし、経過措置として、指導監督基準を満たしていない場合でも無償化の対象とする5年間の猶予期間を設けます。

いわゆる「障害児通園施設」を利用する子供たち

【対象者・利用料】

- 就学前の障害児の発達支援（いわゆる障害児通園施設）を利用する子供たちについて、利用料が無償化されます。
 - * 3歳から5歳が対象です（なお、0歳から2歳児の住民税非課税世帯については、既に無償となっています）。
- 幼稚園、保育所、認定こども園といわゆる障害児通園施設の両方を利用する場合は、両方とも無償化の対象となります。

いただいた回答は芦屋市の子育て支援の充実に生かしていきます



(参考) 第1期計画イメージ



【用語解説等】

芦屋市子育て未来応援プラン

| | 用語 | 解説等 | 利用料金 |
|----|-----------------|---|--------------------------------|
| あ行 | 預かり保育 | 幼稚園または認定こども園（幼稚園部）で実施されている、通常の就園時間を延長して預かる事業 | 各実施主体で、それぞれ料金設定が異なります。 |
| | 一時預かり | 保護者の方が週3日だけ働いたり、病気などで入院したりして家庭で保育が困難になった就学前の児童を保育所（園）等で預かる事業 | 日額 2,000円 （うち500円は飲食物費） |
| か行 | 家庭的保育事業 | 保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業（市町村が認可） | 後掲「保育認定の保育料」参照 |
| | 企業主導型施設 | 企業主導型の事業所内保育事業を主軸として、多様な就労形態に対応する保育サービスの拡大を行い、仕事と子育てとの両立に資することを目的とする事業（認可外保育施設に分類される） | 各実施主体で、それぞれ料金設定が異なります。 |
| さ行 | 事業所内保育事業 | 会社の保育施設等で、従業員の子どもと地域の子どもに対し一緒に保育を実施する事業（市町村が認可） | 後掲「保育認定の保育料」参照 |
| | 障がい児支援施設 | 指導と訓練、その他集団適応など必要な支援を受けたり、心身の発達に支援を要する児童が、通所により放課後を過ごしたりする施設 | 利用したサービスの費用の1割を負担（月額の上限があります。） |
| | 小規模保育事業 | 保育所（園）より少人数（19人以下）の単位で0～2歳の子どもを保育する事業（市町村が認可） | 後掲「保育認定の保育料」参照 |
| な行 | 認可外保育施設 | 都道府県知事等の認可を受けていないが、保育所と同様の業務を目的とする施設 | 各実施主体で、それぞれ料金設定が異なります。 |
| | 認可保育所 | 就労などのため、家庭で保育のできない保護者に代わって保育する施設 | 後掲「保育認定の保育料」を参照 |
| | 認定こども園 | 幼稚園と保育所の機能や特徴を合わせ持ち、地域の子育て支援も行う施設 | 後掲「教育認定の保育料」または「保育認定の保育料」を参照 |
| は行 | 病児・病後児保育 | 病気やけがにより、保育所等で他の児童との集団生活が困難な児童を一時的に預かる事業 | 1人日額 2,000円 |
| | ファミリー・サポート・センター | 地域において育児の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、育児について助け合う会員組織 | 平日 7時～19時 最初の1時間まで800円 |
| | ベビーシッター | 保育者が子どもの家庭で保育する事業 | 各実施主体で、それぞれ料金設定が異なります。 |
| や行 | 幼稚園 | その後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、健やかな成長のために適当な環境の中で心と体の成長を助長する施設 | 後掲「教育認定の保育料」参照 |

※ 事業・サービス・利用料金は、年齢・条件・実施主体によって違うものがありますので、あくまで目安として参照してください。また、記載内容は調査実施時点のものであり、今後変更になる可能性があります。

【教育認定の保育料（幼稚園，認定こども園（幼稚園部））】

（平成30年11月時点）

| 階層区分 | | 保育料（月額）※1 | |
|------|--------------------------|----------------------|--------|
| A | 生活保護世帯等※2 | 0円 | |
| B | 市町村民税所得割非課税世帯（ひとり親世帯等※3） | 0円 | |
| | 市町村民税所得割非課税世帯 | 2,000円 | |
| C1 | 市町村民税所得割の額 | 77,100円以下（ひとり親世帯等※3） | 3,000円 |
| | | 77,100円以下 | 6,500円 |
| C2 | 77,101円以上 | 10,000円 | |
| C3 | 211,201円以上 | 12,000円 | |
| C4 | 301,001円以上 | 15,000円 | |

※1 多子世帯の保育料については，別途軽減措置があります。

※2 「生活保護世帯等」とは，生活保護法による被保護世帯及び中国残留邦人等に係る支援給付受給世帯をいいます。

※3 「ひとり親世帯等」とは，母子世帯若しくは父子世帯，障がい者若しくは障がい児と生計を一にする世帯，生活保護基準に準じた生活に困窮していると認められる世帯をいいます。

【保育認定の保育料

（認可保育所，認定こども園（保育所部），小規模保育事業，家庭的保育事業，事業所内保育事業）】

（平成30年11月時点）

| 階層区分 | | 保育料(月額)※1 | | | | |
|------|------------------------|--------------|---------|---------|---------|---------|
| | | 満3歳以上※4 | | 満3歳未満※4 | | |
| | | 保育標準時間 | 保育短時間 | 保育標準時間 | 保育短時間 | |
| A | 生活保護世帯等※2 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 | |
| B | 市町村民税所得割 | ひとり親世帯等※3 | 0円 | 0円 | 0円 | |
| | 非課税世帯 | ひとり親世帯等以外の世帯 | 5,000円 | 4,900円 | 5,500円 | 5,400円 |
| C1 | 48,600円未満 | ひとり親世帯等※3 | 4,500円 | 4,400円 | 4,750円 | 4,650円 |
| | | ひとり親世帯等以外の世帯 | 9,000円 | 8,800円 | 9,500円 | 9,300円 |
| C2 | 48,600円以上 67,500円未満 | ひとり親世帯等※3 | 6,000円 | 5,800円 | 7,500円 | 7,350円 |
| | | ひとり親世帯等以外の世帯 | 13,500円 | 13,200円 | 15,000円 | 14,700円 |
| C3 | 67,500円以上 77,101円未満 | ひとり親世帯等※3 | 6,000円 | 5,800円 | 9,000円 | 8,800円 |
| | | ひとり親世帯等以外の世帯 | 22,000円 | 21,600円 | 25,500円 | 25,000円 |
| | 77,101円以上 97,000円未満 | | 22,000円 | 21,600円 | 25,500円 | 25,000円 |
| C4 | 97,000円以上 125,500円未満 | | 28,000円 | 27,500円 | 35,500円 | 34,800円 |
| C5 | 125,500円以上 169,000円未満 | | 30,000円 | 29,400円 | 43,500円 | 42,700円 |
| C6 | 169,000円以上 251,000円未満 | | 32,500円 | 31,900円 | 54,500円 | 53,500円 |
| C7 | 251,000円以上 301,000円未満 | | 34,000円 | 33,400円 | 60,000円 | 58,900円 |
| C8 | 301,000円以上 397,000円未満 | | 37,000円 | 36,300円 | 71,000円 | 69,700円 |
| C9 | 397,000円以上 | | 41,000円 | 40,300円 | 89,000円 | 87,400円 |

※1 多子世帯の保育料については，別途軽減措置があります。

※2 「生活保護世帯等」とは，生活保護法による被保護世帯及び中国残留邦人等に係る支援給付受給世帯をいいます。

※3 「ひとり親世帯等」とは，母子世帯若しくは父子世帯，障がい者若しくは障がい児と生計を一にする世帯，生活保護基準に準じた生活に困窮していると認められる世帯をいいます。

※4 年度途中で満3歳になられた場合でも，その年度内は，引き続き満3歳未満の保育料が適用されます。

子育て支援に関するアンケート調査

～調査の趣旨とご協力をお願い～

【ご協力をお願い】

皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

芦屋市では、『子育て未来応援プラン「あしや」』（平成27～31年度）を策定し、子育て支援施策を推進しております。

次期計画の策定にあたり、市民の皆さまの教育・保育・子育て支援に関する各施策の今後の取り組みを検討するため、本調査を行います。

このアンケートは、平成32年度からの5か年の事業計画を決める大切なものですので、ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

※ この調査にご協力いただく方は、市内にお住まいの就学前のお子さんのいらっしゃるご家庭の中から、無作為に選ばせていただきました。

※ ご回答は、すべて無記名で、個人が特定されることや、他の目的に使用することはございません。

※ 設問中の「*」については、別紙に用語解説を記載しています。

平成30年11月

芦屋市長 山中 健

To those who need English translation

(英語の翻訳を必要とする方へ)

This survey is not obligatory. Translated questionnaires have been prepared. So if you cooperate this survey, please send an E-mail to the following address. Thank you.

E-mail : kodomoseisaku@city.ashiya.lg.jp

- ご回答は、できるかぎり封筒の宛名のお子さんの保護者の方をお願いしますが、ご家族の方や一緒にお住まいの方にもご協力いただきますようお願いいたします。
- 調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最終頁までご回答くださいますようよろしくお願いいたします。
- 番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、指定の数だけ○で囲んでください。
- 時刻を記入するところでは、当てはまる時刻を、24時間表記で記載してください。
(例) 9時～18時、17時まで
- ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、
12月17日(月)までにご返送ください。(切手は不要です。)
- 調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問合せ】 芦屋市こども・健康部子育て推進課

電話：38-2045 (平日9:00～17:30 (12:00～12:45は除く))

FAX：38-2190

1.お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる町に○をつけてください。

| 地区 | | | | | 【参考】小学校区 |
|-----------|----------|----------|----------|----------|---------------------|
| 1. 奥池町 | 2. 奥池南町 | 3. 奥山 | 4. 大原町 | 5. 上宮川町 | 山手小学校区 ※一部調整区域あり |
| 6. 劔谷 | 7. 三条町 | 8. 三条南町 | 9. 清水町 | 10. 月若町 | |
| 11. 業平町 | 12. 西芦屋町 | 13. 西山町 | 14. 東芦屋町 | 15. 船戸町 | |
| 16. 前田町 | 17. 松ノ内町 | 18. 山芦屋町 | 19. 山手町 | | |
| 20. 岩園町 | 21. 楠町 | 22. 親王塚町 | 23. 翠ヶ丘町 | 24. 六麓荘町 | |
| 25. 朝日ヶ丘町 | 26. 東山町 | | | | 岩園小学校区 |
| 27. 伊勢町 | 28. 大樹町 | 29. 川西町 | 30. 公光町 | 31. 精道町 | 朝日ヶ丘小学校区 |
| 32. 竹園町 | 33. 茶屋之町 | 34. 津知町 | 35. 浜芦屋町 | 36. 平田北町 | |
| 37. 平田町 | 38. 松浜町 | | | | |
| 39. 打出小槌町 | 40. 呉川町 | 41. 西蔵町 | 42. 浜町 | 43. 宮川町 | 精道小学校区 |
| 44. 宮塚町 | 45. 若宮町 | | | | 宮川小学校区 |
| 46. 打出町 | 47. 春日町 | 48. 大東町 | 49. 南宮町 | | |
| 50. 海洋町 | 51. 潮見町 | 52. 涼風町 | 53. 緑町 | 54. 南浜町 | 打出浜小学校区 |
| 55. 陽光町 | 56. 若葉町 | | | | 潮見小学校区 ※一部調整区域あり |
| 57. 高浜町 | 58. 新浜町 | 59. 浜風町 | | | |
| | | | | | 浜風小学校区 |

2.封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 お子さんの生年月月をご記入ください。

平成 ____年 ____月 生まれ

問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。お子さんを含めた人数をご記入ください。

きょうだい数 ____人

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者（パートナー）がいる 2. 配偶者（パートナー）はいない

問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他()

問7 何人家族ですか。

※単身赴任・入院・入所の方など、家計を一緒にしたり、定期的に帰宅する方は家族の人数に含めて回答してください。

家族の人数（あなたを含めて） ____人

3.子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問8 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問9 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ---▶ 【問9-1へ】
2. ない -----▶ 【問10へ】

問9-1 **問9で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。**

お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人・知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設（児童センター等）・NPO |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 保育所（園）・幼稚園*・認定こども園*等 |
| 7. 民生委員・児童委員 | 8. かかりつけの医師 |
| 9. 自治体の子育て関連担当窓口 | 10. 社会福祉協議会（総合相談窓口） |
| 11. 障がい児相談窓口 | 12. インターネット・SNS |
| 13. その他（ | ） |

問10 ご家族の経済状況についてうかがいます。昨年1年間（平成29年1月～平成29年12月）の、家族全員の収入（所得税・住民税などの税金や健康保険料・介護保険料などを支払った後の手取り額）の合計額は、およそいくらでしたか。年間の世帯収入額をご記入ください。

※家族とは、問7で答えていただいた方全員のことです。

※収入には、月給や賞与などの働いて得た収入だけでなく、株式配当や副収入を合計してください。

※児童手当や就学援助、生活保護などの公的な援助手当は除いた額をお答えください。

世帯の収入は年間（ 万円）ぐらい



4.お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 11 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業，家族従事者含む）をうかがいます。

（1）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---|-------------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労，以下同様）で就労している | } 【(1) -1へ】 |
| 2. フルタイムで就労しているが，産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労，以下同様）で就労している | |
| 4. パート・アルバイト等で就労しているが，産休・育休・介護休業中である | |
| 5. （お子さんが生まれる前を含め）以前は就労していたが，現在は就労していない | } 【(2)へ】 |
| 6. （お子さんが生まれる前を含め）これまで就労したことがない | |

（1）-1 （1）で「1.~4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」，1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」，「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は，もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は，休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり ____日 1日当たり ____時間

家を出る時間 ____時 帰宅時間 ____時

（2）父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---|-------------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労，以下同様）で就労している | } 【(2) -1へ】 |
| 2. フルタイムで就労しているが，育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労，以下同様）で就労している | |
| 4. パート・アルバイト等で就労しているが，育休・介護休業中である | |
| 5. （お子さんが生まれる前を含め）以前は就労していたが，現在は就労していない | } 【問13へ】 |
| 6. （お子さんが生まれる前を含め）これまで就労したことがない | |

（2）-1 （2）で「1.~4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」，1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」，「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は，もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は，休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり ____日 1日当たり ____時間

家を出る時間 ____時 帰宅時間 ____時

問 12 **問 11 の (1) または (2) で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にかがいます。**該当しない方は、問 13 へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 13 **問 11 の (1) または (2) で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にかがいます。**該当しない方は、問 14 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、該当する___には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1 年より先、一番下の子どもが ___ 歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい

→希望する就労形態

1. フルタイム
2. パート・アルバイト等

→1 週当たり ___ 日 1 日当たり ___ 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1 年より先、一番下の子どもが ___ 歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい

→希望する就労形態

1. フルタイム
2. パート・アルバイト等

→1 週当たり ___ 日 1 日当たり ___ 時間

5. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況と意向についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業です。
具体的には、幼稚園*や保育所(園)など、問 14-1 に示した事業が含まれます。

問 14 **すべての方にかがいます。**お子さんは現在、幼稚園*や保育所(園)などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 利用している ---▶ **【問 14-1 へ】**
2. 利用していない ---▶ **【問 14-7 へ】**

問 14-1～問 14-6は、問 14で「1.利用している」に○をつけた方にかがいます。

問 14-1 利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園*
2. 幼稚園の預かり保育*
3. 認可保育所*
4. 認可外保育施設*（企業主導型保育施設*を含む）
5. 認定こども園*（幼稚園部）
6. 認定こども園（幼稚園部）の預かり保育*
7. 認定こども園*（保育所部）
8. 小規模保育事業*
9. 家庭的保育事業*
10. 事業所内保育事業*
11. ベビーシッター*
12. ファミリー・サポート・センター*事業
13. 障がい児支援施設*
14. その他（ _____ ）

問 14-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。____に具体的な数字でご記入ください。

(1) 現在 1週当たり _____日 1日当たり _____時間（ _____時～ _____時）

(2) 希望 1週当たり _____日 1日当たり _____時間（ _____時～ _____時）

問 14-3 **問 14-1で「2.幼稚園の預かり保育*」または「6. 認定こども園（幼稚園部）の預かり保育*」に○をつけた方にかがいます。**どのくらい利用していますか。____に具体的な数字でご記入ください。

1週当たり _____日 1日当たり _____時間（ _____時～ _____時）

問 14-4 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号どちらかに○をつけてください。

1. 芦屋市内
2. 芦屋市外（ _____ 市）

問 14-5 現在、利用している教育・保育事業の実施場所へ通う主な手段についてうかがいます。主な手段を1つ選んで○をつけてください。

1. 徒歩
2. 自転車
3. 自動車
4. 通園バス
5. 路線バス
6. 電車
7. その他（ _____ ）

問 14-6 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育てをしている方が現在就労している
3. 子育てをしている方が就労予定である／求職中である
4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育てをしている方に病気や障がいがある
6. 子育てをしている方が学生である
7. その他（ _____ ）

問 14-7 **問 14 で「2. 利用していない」に○をつけた方にかがいます。**

利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育てしている方が在宅している
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもが____歳くらいになったら利用しようと考えている
9. その他 ()

問 15 **すべての方にかがいます。**現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料（別紙参照）が発生します。（今後無償化が検討されているものもあります。）

1. 幼稚園*
2. 幼稚園の預かり保育*
3. 認可保育所*
4. 認可外保育施設*（企業主導型保育施設*を含む）
5. 認定こども園*（幼稚園部）
6. 認定こども園（幼稚園部）の預かり保育*
7. 認定こども園*（保育所部）
8. 小規模保育事業*
9. 家庭的保育事業*
10. 事業所内保育事業*
11. ベビーシッター*
12. ファミリー・サポート・センター*事業
13. 障がい児支援施設*
14. その他 ()

問 15-1 **すべての方にかがいます。**教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 芦屋市内
2. 芦屋市外 () 市)
3. どちらでもよい

問 15-2 **問 15 で「1. 幼稚園*」または「2. 幼稚園の預かり保育*」に○をつけ、かつ3. 4. 7~14 にも○をつけた方にかがいます。**特に幼稚園*（幼稚園の預かり保育*をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

1. はい
2. いいえ

問 15-3 **問 15 で「5. 認定こども園*（幼稚園部）」または「6. 認定こども園（幼稚園部）の預かり保育*」に○をつけ、かつ3,4,7～14にも○をつけた方にうかがいます。**特に認定こども園*（幼稚園部）（預かり保育*をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 15-4 **すべての方にうかがいます。**今後、新たに教育・保育事業を選ぶことを想定した場合、重視することはどのようなことですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 教育・保育の内容や方針が希望に合う |
| 2. 教育・保育者の質が高い |
| 3. 保育に伴うサービス（預かり時間・バス送迎・課外教室等）が充実している |
| 4. 施設や設備が充実している |
| 5. 食育及び給食の提供の考え方が合う |
| 6. 園庭が広い |
| 7. 保育時間が利用希望に合う |
| 8. 認可されている施設である |
| 9. 保育料が適正である |
| 10. 親の負担の程度が軽い |
| 11. 親が運営・行事などに関わる機会が少ない |
| 12. 自宅から距離が近い |
| 13. 利用する駅や職場からの距離が近い |
| 14. 家族や知り合いが通っている（通っていた） |
| 15. 近所や知人の評判がよい |
| 16. 公立である |
| 17. 私立である |
| 18. 特別な支援が必要な子どもの受け入れ態勢が充実している |
| 19. 小学校や地域と積極的に連携している |
| 20. その他（ |

)



6.お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 16 **すべての方にかがいます。** お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。(別紙参照) 当てはまる番号1つに○をつけ、該当する____には数字をご記入ください。

(1) 土曜日

- | | | |
|-----------------|---|----------|
| 1. 利用する必要はない | } | 利用したい時間帯 |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に1~2回は利用したい | | |

(2) 日曜日・祝日

- | | | |
|-----------------|---|----------|
| 1. 利用する必要はない | } | 利用したい時間帯 |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に1~2回は利用したい | | |

問 16-1 **問 16 の (1) または (2) で、「3.月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にかがいます。**

毎週ではなく、月に数日利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 月に数回仕事が入るため | 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため | 4. リフレッシュのため |
| 5. その他 (|) |

問 17 **「幼稚園*」または「認定こども園* (幼稚園部)」を利用されている方にかがいます。**

お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休暇中の教育・保育事業の利用を希望しますか。該当する番号に○をつけ、該当する____には数字をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。(別紙参照)

- | | | |
|---------------------|---|----------|
| 1. 利用する必要はない | } | 利用したい時間帯 |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | | |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | | |

問 17-1 **問 17 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にかがいます。**

毎日ではなく、週に数日利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 週に数回仕事が入るため | 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため | 4. リフレッシュのため |
| 5. その他 (|) |



7. お子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 18 **問 14 で現在、幼稚園*や保育所(園)などの「定期的な教育・保育事業」を「1. 利用している」に○をつけた方**にうかがいます。

この1年間に、お子さんが病気やけがで通常の教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった ---▶【問 18-1へ】
2. なかった ---▶【問 19へ】

問 18-1 **問 18 で「1. あった」に○をつけた方**にうかがいます。

お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数を数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

| 1年間の対処方法 | 日数 |
|------------------------------|----|
| 1. 母親が休んだ | 日 |
| 2. 父親が休んだ | 日 |
| 3. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった | 日 |
| 4. 母親または父親のうち就労していない方が子どもをみた | 日 |
| 5. 病児・病後児保育*を利用した | 日 |
| 6. ベビーシッター*を利用した | 日 |
| 7. ファミリー・サポート・センター*を利用した | 日 |
| 8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | 日 |
| 9. その他() | 日 |

【問 19へ】

問 18-2 **問 18-1 で「1. 母親が休んだ」または「2. 父親が休んだ」のどちらかに○をつけた方**にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児保育*のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、おおよその日数についてもご記入ください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生し(別紙参照)、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育*施設等を利用したい → 年間____日
2. 利用したいとは思わない



8. すべての方に、お子さんの不定期の教育・保育事業や一時預かりなどの利用についてうかがいます。

問 19 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数をご記入ください。また、今後の利用意向についてもご記入ください。

| 利用している事業・日数（年間） | | 今後の利用意向 |
|-------------------------|---|---------|
| 1. 一時預かり* | 日 | ある ない |
| 2. 幼稚園の預かり保育* | 日 | ある ない |
| 3. ファミリー・サポート・センター* | 日 | ある ない |
| 4. ベビーシッター* | 日 | ある ない |
| 5. 障がい児支援施設* | 日 | ある ない |
| 6. その他（ ） | 日 | ある ない |
| 7. 現在利用していない、今後も利用意向はない | | |

問 20 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、1年間で何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。（別紙参照）

| | | |
|--|---|---|
| 1. 利用したい | 計 | 日 |
| ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など、リフレッシュ目的） | | 日 |
| イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 | | 日 |
| ウ 不定期の就労 | | 日 |
| エ その他（ ） | | 日 |
| 2. 利用する必要はない | | |

問 21 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。あった場合は、当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、この1年間のおおよその日数をご記入ください。

| | 1年間の対処方法 | 日数 |
|---------|--|----|
| 1. あった | ア 親族・知人にみてもらった | 泊 |
| | イ 短期入所生活援助事業（ショートステイ ^注 ）を利用した | 泊 |
| | ウ イ以外の保育事業（認可外保育施設*、ベビーシッター*等）を利用した | 泊 |
| | エ 仕方なく子どもを同行させた | 泊 |
| | オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | 泊 |
| | カ その他（ ） | 泊 |
| 2. なかった | | |

注：児童養護施設、障がい児支援施設* 等で一定期間、子どもを養育・保護する事業



9. すべての方に、お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 22 お子さんは、現在、つどいのひろば^注（むくむく・キオラクラブ・ひとしお・ぷくぷく・ももこ・プチアンジュ）を利用していますか。当てはまる番号に○をつけ、該当する___には数字をご記入ください。

1. 利用している 1 週当たり ___回 もしくは 1 か月当たり ___回程度
 2. 利用していない

注：地域の子育て中の親子が集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場所

問 23 問 22 のつどいのひろばについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、または、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、該当する___には数字をご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい
 1 週当たり ___回 もしくは 1 か月当たり ___回程度
 2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
 1 週当たり 更に ___回 もしくは 1 か月当たり 更に ___回程度
 3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

| | | |
|---|--|---|
| <p>むくむく（子育てセンター）</p> <p>所在地 呉川町14-9</p> | <p>キオラクラブ（浜風あすのこども園）</p> <p>所在地 浜風町1-2</p> | <p>ひとしお（しおさいこども園）</p> <p>所在地 涼風町5-2</p> |
| <p>ぷくぷく（精道幼稚園）</p> <p>所在地 川西町11-10</p> | <p>ももこ（児童センター）</p> <p>所在地 上宮川町10-5</p> | <p>プチアンジュ（岩園幼稚園）</p> <p>所在地 岩園町24-3</p> |

出典：平成 30 年 4 月芦屋市発行「子育てサポートブックわくわく子育て」12 ページより抜粋

「子育てサポートブックわくわく子育て」をご覧になりたい方は、こちらを参考にしてください。



問 24 下記の施設や事業で知っているものや、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑭の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、該当するところに○をつけてください。

| 施設・事業 | A 知っている | B 利用したことがある | C 今後利用したい |
|--|------------|----------------|--------------|
| ①カンガルークラブ（子育てセンター等） 第1子（1歳未満）のお子さんのいるママが集まって、親子の関わり方を学びながら たくさんの親子と交流できる場 | | | |
| ②なかよしひろば（幼稚園*） 親子一緒に幼稚園*の園庭・遊戯室・砂場等で遊べる場 | | | |
| ③あそぼう会（子育てセンター） 保健福祉センターの運動室で、親子で体を動かして自由に遊べる場 | | | |
| ④あい・あいるーむ（民生児童委員協議会が運営する子育てひろば） 市内の公共施設で親子が気軽に集い、仲間づくりや情報交換をできる場 | | | |
| ⑤児童センター（上宮川文化センター） | | | |
| ⑥子育て自主活動グループ 地域の親子がグループをつくり、幼稚園*や子育てセンターで自主的に活動を行うもの | | | |
| ⑦さんさんひろば（幼稚園*） 市立幼稚園で開催している3歳児以上の子どもが対象の親子で遊べる場 | | | |
| ⑧園庭開放（幼稚園*・認可保育所*・認定こども園*） 園庭を地域の親子のために開放して遊んだり子育て相談したりできる場 | | | |
| ⑨育児相談（幼稚園*・認可保育所*・認定こども園*） 子どもの養育に関するさまざまな問題について、保護者からの相談に応じ、情報提供 や助言を行うもの | | | |
| ⑩図書館（分室含む） | | | |
| ⑪市民センター・公民館 | | | |
| ⑫青少年センター・体育館 | | | |
| ⑬特別支援教育センター（保健福祉センター） 障がいのある子どもに対する教育的支援を行う拠点 | | | |
| ⑭子育て世代包括支援センター（保健福祉センター） 妊娠期から子育て期を切れ目なくサポートする身近な相談窓口 | | | |

10.お子さんが5歳以上の保護者の方にかがいます。

問 25 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）になったときの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は（ ）もご記入ください。

| | |
|--------------------------------------|------------------------|
| 1. 自宅 | 週（ ）日くらい |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | 週（ ）日くらい |
| 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等） | 週（ ）日くらい |
| 4. 体育館や福祉センターなど公共の施設 | 週（ ）日くらい |
| 5. 放課後子ども教室（キッズスクエア ^{注1} 等） | 週（ ）日くらい |
| 6. 放課後児童クラブ ^{注2} （学童保育） | 週（ ）日くらい → 下校時から（ ）時まで |
| 7. コミスク ^{注3} | 週（ ）日くらい |
| 8. ファミリー・サポート・センター* | 週（ ）日くらい |
| 9. 障がい児支援施設* | 週（ ）日くらい |
| 10. その他（ ） | 週（ ）日くらい |

注1：小学校を利用して、地域の方の参画も得ながら、児童が放課後や長期休業中などを安心して過ごせる居場所の提供を行う事業

注2：保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を提供するもの。なお、利用にあたっては一定の利用料がかかり、各実施主体で料金設定が異なります。

注3：地域社会の中で、文化活動・スポーツ活動・福祉活動・地域活動等を通じて、よりよいコミュニティの創造・発展を図ることを目的に活動している団体

問 26 お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったときの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は（ ）もご記入ください。

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

| | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 自宅 | 週（ ）日くらい |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | 週（ ）日くらい |
| 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等） | 週（ ）日くらい |
| 4. 体育館や福祉センターなど公共の施設 | 週（ ）日くらい |
| 5. 放課後子ども教室（キッズスクエア等） | 週（ ）日くらい |
| 6. 放課後児童クラブ（学童保育） | 週（ ）日くらい → 下校時から（ ）時まで |
| 7. コミスク | 週（ ）日くらい |
| 8. ファミリー・サポート・センター* | 週（ ）日くらい |
| 9. 障がい児支援施設* | 週（ ）日くらい |
| 10. その他（ ） | 週（ ）日くらい |

問 27 **問 25 または問 26 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にかがいます。**該当しない方は、問 28 へお進みください。

土曜日、日曜日・祝日、夏休み等の三季休業中に利用したいですか。

当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ利用したい時間帯をご記入ください。

| | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 土曜日に利用したい | ____時から ____時まで |
| 2. 日曜日・祝日に利用したい | ____時から ____時まで |
| 3. 夏休み等の三季休業中に利用したい | ____時から ____時まで |
| 4. 利用希望はない | |

11. すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 28 育児休業給付が支給される仕組みや期間（平成 29 年から最長 2 年間となっている）、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 29 お子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親

- | | | |
|-------------|-----------------|------------|
| 1. 働いていなかった | 2. 取得した（取得中である） | 3. 取得していない |
|-------------|-----------------|------------|

取得していない理由（当てはまる番号すべてに○をつけてください）

- | | |
|---|---------------------------|
| 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった | 2. 仕事が忙しかった |
| 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった | 4. 仕事に戻るのが難しそうだった |
| 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった | 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる |
| 7. 保育所(園)などに預けることができた | 8. 配偶者(パートナー)が育児休業制度を利用した |
| 9. 制度を利用する必要がなかった | 10. 子育てや家事に専念するため退職した |
| 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった) | |
| 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった | |
| 13. 育児休業を取得できることを知らなかった | |
| 14. 産前産後の休暇(産前6週間, 産後8週間)を取得できることを知らず, 退職した | |
| 15. その他 () | |

(2) 父親

- | | | |
|-------------|-----------------|------------|
| 1. 働いていなかった | 2. 取得した（取得中である） | 3. 取得していない |
|-------------|-----------------|------------|

取得していない理由（当てはまる番号すべてに○をつけてください）

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった | 2. 仕事が忙しかった |
| 3. 仕事に戻るのが難しそうだった | 4. 昇給・昇格などが遅れそうだった |
| 5. 収入減となり、経済的に苦しくなる | 6. 保育所(園)などに預けることができた |
| 7. 配偶者(パートナー)が育児休業制度を利用した | 8. 制度を利用する必要がなかった |
| 9. 子育てや家事に専念するため退職した | |
| 10. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった) | |
| 11. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった | |
| 12. 育児休業を取得できることを知らなかった | |
| 13. その他 () | |

問 29-1 **問 29 で母親または父親が、「2.取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。なお、母親または父親のうち、どちらか育児休業期間を長く取得した方についてお答えください。**該当しない方は、問 30 へお進みください。
 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した | |
| 2. 現在も育児休業中である | -----> 【問 29-8 へ】 |
| 3. 育児休業中に離職した | -----> 【問 30 へ】 |

問 29-1 で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問 29-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所（園）の入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。当てはまる番号どちらかに○をつけてください。

- | |
|-------------------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった |
| 2. それ以外だった |

※「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」には、次の内容も含まれます。
 ・年度初めでの認可保育所*入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育施設*に入所した場合
 ・年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所（園）に入所できなかったという場合

問 29-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としては何歳何か月のときまで取りたかったですか。該当する___には数字をご記入ください。

| | | | |
|---------|------------|----|------------|
| 実際の取得期間 | ___歳 ___か月 | 希望 | ___歳 ___か月 |
|---------|------------|----|------------|

問 29-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。該当する___には数字をご記入ください。

| | |
|----|------------|
| 希望 | ___歳 ___か月 |
|----|------------|

問 29-5 **問 29-3 で「実際」の復帰と「希望」が異なる方にうかがいます。**
 希望の時期に職場復帰しなかった理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 「希望」より早く復帰した方

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所（園）に入るため | 2. 配偶者（パートナー）や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他（ _____ ） | |

(2) 「希望」より遅く復帰した方

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所（園）に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者（パートナー）や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他（ _____ ） | |

問 29-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1. 利用する必要がなかった |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） |

問 29-7 **問 29-6** で「**3. 利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）**」に○をつけた方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所（園）の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者（パートナー）が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者（パートナー）が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（)

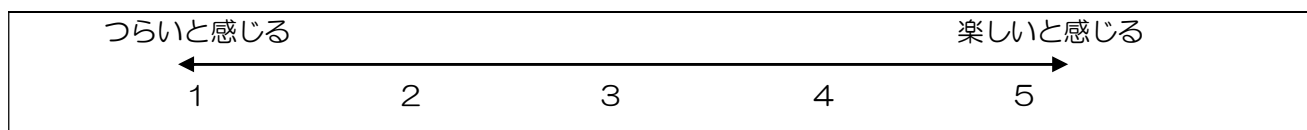
問 29-8 **問 29-1** で「**2. 現在も育児休業中である**」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

12.すべての方に、芦屋市の今後の子育て施策についてうかがいます。

問 30 ご自身にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



問 31 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

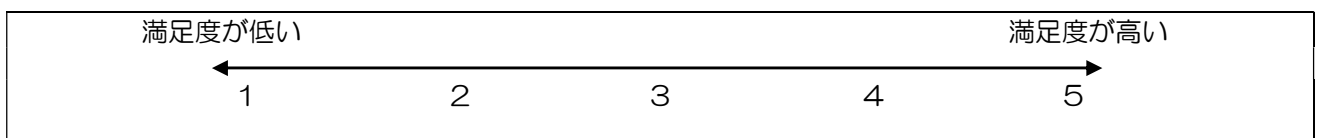
(1) 子どもに関すること

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 病気や発育発達に関すること | 2. 食事や栄養に関すること |
| 3. 子育て支援サービスのこと | 4. 子どものしつけに関すること |
| 5. 子どもと過ごす時間が十分取れないこと | 6. 子どもの教育・保育に関すること |
| 7. 子どもの友だちづきあいに関すること | 8. 子どもの登所・登園拒否など |
| 9. 特にない | 10. その他 () |

(2) ご自身に関すること

1. 子育てに関して配偶者（パートナー）の協力が少ないこと
2. 配偶者（パートナー）と子育てに関して意見が合わないこと
3. 子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと
4. ご自身の子育てについて、身近な人の見目が気になること
5. 子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7. 配偶者（パートナー）以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8. 子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと
9. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
10. 特にない
11. その他（)

問 32 芦屋市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。



問 33 地域の人に頼まれた場合に、お互いにサポートできると思うことはありますか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1. ちょっとした買い物 | 2. 子育ての相談 |
| 3. 短時間の子どもの預かり | 4. 保育所（園）・幼稚園*・認定こども園*等の送迎 |
| 5. 習い事の送迎 | 6. 食事づくり |
| 7. 宿題をみる | 8. 話し相手 |
| 9. 特にない | 10. その他（) |

問 34 芦屋市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

1. 子育てに関する相談、情報提供の充実
2. 親子・親同士の交流の場の充実
3. 地域における子どもの居場所の充実
4. 家庭の教育力向上のための学習機会の充実
5. 子どもの発達支援のための健診や訪問、ヘルパー派遣などの充実
6. 子どもが家庭や子どもの大切さを学ぶことができる場の充実
7. 子どもが主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実
8. 児童虐待やいじめなどに対する対策の充実
9. 障がいのある子どもが地域で安心して生活できるよう障がい児施策の充実
10. ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実
11. 教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実
12. 仕事と子育てが両立できるよう就学前施設の箇所数や内容の充実
13. 仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善等、企業や労働者に対する啓発
14. その他（)

問 35 過去1年間に、次の手当てや援助などを受けたことがありますか。①～③のそれぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

| | 受けている | 受けたことがある | 受けたことがない |
|----------------------|-------|----------|----------|
| ①児童扶養手当 ^注 | 1 | 2 | 3 |
| ②生活保護 | 1 | 2 | 3 |
| ③養育費 | 1 | 2 | 3 |

注：ひとり親世帯等（父または母が重度障がい者の場合を含む）で、18歳に達した年度末（中度以上の障がいのある児童は20歳）までの児童を養育している方に支給される手当です。

問 36 お子さんにとって、現在、または将来的に、どのような支援があるとよいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供
2. 仲間と出会い、一緒に活動できる場所
3. 自然体験や集団遊びなど多様な活動機会の提供
4. 地域における子どもの居場所の提供
5. 読み書き計算などの基礎的な学習への支援
6. 子どものみで無料もしくは安価で食事ができる場所の提供
7. 低い家賃で住める場所（寮や下宿のようなところ）
8. 生活や就学のための経済的補助
9. 進路や生活などについて相談できる場所
10. 会社などでの職場体験等の機会の提供
11. 仕事に就けるようになるための就労に関する支援
12. 進学や資格を取るための発展的な学習の支援
13. 特にない
14. その他（）



問 37 あなたが現在、または将来的に必要としていること、重要だと思う支援等はどのようなものですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること
2. 同じような悩みを持った人同士で知り合えること
3. 地域の人から助けてもらえること
4. 離婚のことや養育費のことなどについて法的な相談ができること
5. 病気や障がいのことなどについて専門的な相談が受けられること
6. 住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること
7. 病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
8. 子どもの就学にかかる費用が軽減されること
9. 一時的に必要な資金を借りられること
10. 就職・転職のための支援が受けられること
11. 特にない
12. その他 ()

問 38 最後に、芦屋市でどのような子育てができるようになると良いと思いますか。あなたが子育てをされている中で、芦屋市が行っている施策で役に立ったこと・良かったと感じていることや改善または充実してほしいと感じることについて、ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

芦屋市の施策については、
こちらを参考にしてください。



芦屋市子育て未来応援プラン

検索



同封の封筒に入れて、切手は貼らずに12月17日(月)までにご返送ください。
アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

